

教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
こども教育学部	准教授	尾関美和	修士(学術)

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 1)鳴門教育大学教職大学院「教職協働実践演習 I II」におけるアセスメントの実践講義	令和元年4月～令和4年3月	心理検査(田中ビネー, S-M社会生活能力検査, 太田ステージ, MEPA-R, MEPA-II R等)を複数取り上げ, 検査の方法や評価の仕方, またその結果を教育実践にどう活かすかについて, 実技や事例を交えながら講義をした。受講生からは, 実際に検査を操作できることがよい学びとなっており, 教育現場での即戦力につながるとの評価を得た。
2)鳴門教育大学教職大学院「特別支援・通級指導実習」でのビデオ視聴による幼児の活動状況と学生の支援の分析及びTeams活用での学生協議の設定	令和元年4月～令和4年3月	通級による指導を模した幼児教室のビデオを用い, 幼児の活動と支援者の動きについて観察を行う時間を設けた。その視聴から, 幼児の障害特性を捉えたり, 学習内容の目的に沿った適切な学習活動と学生の支援について, 幼児自身, 保護者の立場, 教員の立場等多方面の視点を取り入れ協議を行うようにした。その協議の中で各学生が自分の課題に気づくように促し, 改善について示唆している。またコロナ過での対応時には, Teamsを使って, 学生とオンラインによる授業展開を行った。
3)鳴門教育大学学校教育学部「主免 副免教育実習」「特別支援教育実習」「ふれあい実習」の講義内容パワーポイント スライド作り	令和元年4月～令和4年3月	通常学級で特別な支援を必要とする児童生徒の事例検討, 特性に対する教員の対応について, 協議の時間を設け, 障害に関する基礎的な内容をスライドを使用して説明を行っている。学生が理解しやすいように, 具体的な例や過去の事例を話し, 学生が興味を持って受講できたり, 実習に対する意欲を高めたりできるように, 適宜事例を挟み講義内容の工夫をした。
(2)作成した教科書・教材・参考書 20)鳴門教育大学附属特別支援学校 小学部自立活動「からだグループ」のダンスと柔軟運動動画の作成	平成23年4月～平成31年3月	自立活動で取り組んでいたダンスや柔軟運動を自宅でも行うことができるように動画を作成し, 限定公開で配信をした。
25)鳴門教育大学附属特別支援学校 教育実習係として教育実習事前指導用視覚教材を作成	平成26年4月～平成31年3月	鳴門教育大学教育実習生や徳島大学教育実習生の主免教育実習について, 目的, 注意事項等, 重要なことにポイントに縛り作成した。受講後の学生レポートには, 目的を持って実習に臨むことができたという感想が複数記されていた。
10)鳴門教育大学教職大学院「今日的な教育課題とその対応 II」での, 個別の指導計画作成に関するスライド, 資料作成	令和元年4月～令和4年3月	特別支援教育で作成が求められている個別の指導計画の作成のポイントについて講義をした。目標設定の仕方にあセスメントを用いることやチェックリストを用いること, スモールステップで課題分析を行うこと等の講義を行った。ベテランの特別支援学級担任教員のインタビューも教材として活用した。
13)鳴門教育大学学校教育学部「特別支援教育実習事前指導」での自立活動に関する説明スライド	令和元年4月～令和4年3月	自立活動の項目と, 教科, 教科を合わせた指導との関連, 児童生徒の実態と自立活動の指導の時間の目標設定等について, 事例検討を行い, 自立活動についての理解を深めるように指導した。自立活動の内容とムーブメント教育・療法の達成課題との関連についても触れた。
15)鳴門教育大学学校教育学部「特別支援教育実習事前指導」での自立活動と重度重複障害児の指導との関連に関する説明スライド	令和元年4月～令和4年4月	重度重複障害児の実態や学習のようすを, 現職教員のインタビューを用いて, 障害の理解について知識を深めるような話も適宜加えた。実際に動けないことや聞こえないこと等の模擬体験を準備し, 自立活動の項目との関連について, 学生の理解を進めるように図った。

(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 国立病院保育士研修中国四国地区大会研修会講師	平成27年9月	重度重複障害児の保育を担当している保育士約30名を対象に、ムーブメント教育・療法の基礎、MEPA-ⅡRのアセスメントについて講義を行った。講義後は、日頃接している重度重複障害児の様子を思い描きながら、簡単な教材を使用した活動について実践を行った。
0)徳島県徳島市助任なかよし認定こども園内研修会講師	平成27年8月	認定こども園の保育士研修会の講師を依頼され、発達障害のある子供達の特性や接し方について講義を行った。具体的な支援方法を取り入れるよう教材を準備し、教材の提示の仕方やタイマーの使い方等、実践的な内容を伝えた。
11)徳島県吉野川市立高越小学校 共同及び交流学习 授業実践指導	令和2年2月～令和5年6月(年1回)	地域の知的特別支援学校在籍児童との共同及び交流学习として、2年生体育の授業実践を行った。ムーブメント教育・療法に沿って授業を行い、全員で楽しく活動をする事ができた。
12)徳島県板野郡藍住町立藍住北小学校教職員研修講師	令和2年12月	特別支援教育について教職員に研修を行った。発達障害についての基本的な特徴、対応例を紹介し、その後各学級での問題点を学年団で話し合い、対応策について意見交換をし、対策を練った。
)高知県山田養護学校田野分校教職員研修講師	令和3年8月	教職員研修において、ムーブメント教育・療法の基礎の講義の依頼を受けた。基本的な考え方、MEPA-Rの実施について、プログラムの立て方等、Zoomで行った。実技の実践では、鳴門教育大学の学生が実践を行い、ライブ配信で、同じように実践を行うという取組をした。
ムーブメント教育・療法 実践セミナー(初級)愛媛会場 研修講師	令和4年8月 令和5年8月	令和4年度は、「生き生きと楽しく感覚運動ムーブメント～重度重複障がい児の特別支援学校の取組から～」と題し、感覚運動に対する理論や実践例の紹介を行った。 令和5年度は、一人ひとりの「やってみたい！」をばぐむムーブメント活動について、同じ遊具を使用して達成課題を変化させた活動について、理論、実技を行った。
ムーブメント教育・療法 実践セミナー(上級)オンライン研修 発表	令和5年11月	ムーブメント教育・療法士の上級資格取得セミナーで、上級取得者の今後の活動の一例として、「ASD児の集団活動における行動の変化について」の研究発表を行った。
ムーブメント教育・療法 研修会 講師	令和5年11月	放課後等デイサービスの職員研修の講師を務めた。午前中は、利用者の子ども達と一緒にムーブメントの活動を行い、午後は、その活動の解説及びムーブメント教育のスタートの仕方等、講義を行った。
(4)その他教育活動上特記すべき事項		

II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
1 障害児教育の新領域自立活動の計画と展開2 身体の健康・動きを育てる自立活動	共著	平成13年12月	明治図書	編者:小林芳文, 永松裕希 著者:向山勝郎, 尾関美和, 長谷川英子, 金川朋子, 永原純子, 安藤正紀, 根立博, 麻生新吾, 近江幸人, 広安敏美	pp.107-113

2 実践 ムーブメント教育・療法 楽しく動いて、からだ・あたま・こころを育てる	共著	令和5年4月	クリエイツかもがわ	監修:小林芳文 編者:阿部美穂子 著者:(50音順)岩羽紗由実, 近江ひと美, 大越敏孝, 大塚美奈子, 奥村操子, 尾関美和, 河合高鋭, 窪田麻由, 庄司亮子, 玉井春菜, 袴田優子, 古谷久美子, 柳澤美恵子, 横田千佳	pp.64-71
3 かんたんにできる発達障害のある子どものためのリラクゼーションプログラム	共著	令和5年5月	学苑社	編者:高橋眞琴 著者:尾関美和, 亀井有美, 中村友香, 山崎真義	pp.64-80
(論文)					
1 児童生徒の実態に即した教育課程の再編成ー「生きる力」を育てる教育課程ー	共著	平成11年5月	鳴門教育大学学校教育学部附属養護学校	高橋啓, 井村雄三, 尾関美和, 酒井美千代, その他32名	pp.52-58
2 一人一人のニーズに応じたコミュニケーション支援ー「自ら判断する」力を高めるためにー(中間報告)	共著	平成12年5月	鳴門教育大学学校教育学部附属養護学校	橋本俊顕, 井村雄三, 酒井美千子, 国広松代, 尾関美和, その他30名	pp.40-43
3 中学部における「総合的な学習の時間」2 研究の主題と主題設定の理由	共著	平成14年3月	平成12・13年度 徳島県教育委員会指定研究 新教育課程推進事業に関する研究報告書	細川直毅, 蔭山久代, 尾関美和, その他30名	pp.12-13
4 実践事例 1年生の取り組み1. はじめに (2)今年度のテーマ「心のひびき」とテーマ設定の理由について(3)活動計画(4)教員の取り組み	共著	平成15年3月	国府養護学校 平成14年度 実践記録	細川直毅, 武市文雄, 尾関美和, その他119名	p.43
5 文部科学省指定 国語力向上モデル事業 研究紀要	共著	平成18年11月	藍住町藍住北小学校 研究紀要	四宮ヨシ, 関本秋夫, 尾関美和, その他25名	pp.23-25
6 児童生徒の自立と社会参加を高めるー貫性・系統性のある教育の実現のために 最終報告	共著	平成29年12月	鳴門教育大学学校教育学部附属養護学校 研究紀要44	井形啓二, 小谷慎一, 尾関美和, 川人健司, その他34名	pp.22-23, pp.33-34
7 知的障害を伴う自閉症スペクトラム障害児への小集団活動の取り組み	単著	平成30年3月	児童研究97巻	尾関美和	pp.62
8 知的特別支援学校 小学部児童の社会性の発達を目指してームーブメント教育・療法を取り入れた集団活動での取組	共著 (筆頭)	令和2年3月	鳴門教育大学研究紀要第35巻,	尾関美和, 本田ひろみ:	pp.109-115
9 特別支援教育におけるライフキャリアの支援	共著	令和2年3月	鳴門教育大学研究紀要第35巻,	大谷博俊, 尾関美和, 井上とも子, 佐藤長武, 高原光恵, 伊藤弘道	pp.95-96
10 教職大学院特別支援教育分野における教育実践力を高めるフィールドワークの在り方に関する研究	共著	令和2年7月	鳴門教育大学授業実践研究ー授業改善をめざしてー,第19号,2020	井上とも子, 大谷博俊, 伊藤弘道, 高原光恵, 尾関美和, 佐藤長武	p49

11 主体的・対話的で深い学びを促す特別支援学校中学部での取組－自閉的傾向のある生徒に対するムーブメント教育・療法の一事例－	単著	令和3年3月	鳴門教育大学学校教育研究紀要第35巻,	尾関美和	pp.155－161
12 生活介護事業を利用する知的障害者に対するアセスメント実施の一事例: TTAP (TEACCH Transition Assessment Profile) を活用して	共著	令和3年3月	鳴門教育大学研究紀要第36巻,	尾関美和, 田中和也	p.102
13 ウィズコロナ時代における特別支援教育実践を問う: 2020年度におけるA県小学校・中学校の事例を通して	共著	令和3年3月	鳴門教育大学研究紀要, 第36巻,	大谷博俊, 伊藤弘道, 高原光恵, 佐藤長武, 尾関美和, 高畠裕子, 山下幸:	pp.82-85
14 教職大学院で取り組むオンライン授業の効果	共著 (筆頭)	令和3年7月	鳴門教育大学授業実践研究－授業改善をめざして－, 第20号,	尾関美和, 伊藤弘道, 大谷博俊, 高原光恵, 小倉正義:	pp.61-62, 69-70
15 ASD児の社会性の発達を促すムーブメント教育	単著				
16 日常とつながる音楽の授業作り－特別支援学校高等部生徒の表現－	共著 (筆頭)				
(その他)					
ASD児の社会性の発達を促すムーブメント教育・療法による体育の取組－知的障害特別支援学校小学部児童の行動変化と教員観察との関連－	単著	令和4年10月	児童研修101巻 2019年－2020年度 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援		pp.78-87

Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

日本LD学会 会員	2017年4月～現在
日本LD学会 第33回大会実行委員	2022年12月～現在
日本ムーブメント教育・療法 運営委員	2022年1月～現在
日本児童学会	2019年5月～現在
日本特殊教育学会	2019年5月～現在
日本発達障害学会	2018年5月～現在